

バンダラナイケ国際空港改善計画(フェーズ2)【スリランカ】

施策所管局課 国別開発協力第二課
評価年月日 令和4年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	スリランカ民主社会主義共和国
(2) 案件名	バンダラナイケ国際空港改善計画(フェーズ2)
(3) 目的・事業内容 (注) 閣議決定日、供与条件などを含む	<p>バンダラナイケ国際空港において、旅客ターミナルビル及び駐機場等を整備拡張することにより、増加する航空旅客需要へ対応すると共に、同空港の利便性・安全性向上を図り、もってスリランカの経済発展に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅客ターミナルビルの増設、高架アクセス道路、附帯設備等の整備 ・駐機場及び焼却炉の整備 ・コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日：平成24年3月27日 イ 供与限度額：289.69億円 ウ 金利：0.2%（コンサルティングサービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：日本タイド</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初、本空港の旅客取扱容量年間600万人に対し、年間610万人の旅客数（2011年）に達していたことから、旅客取扱容量を拡大することが喫緊の課題であった。その後、紛争終結（2009年）以降から増加し始めた観光客数が急増を続けたことから、2018年には本空港利用の旅客数が1,000万人を超えた。2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用旅客数が230万人にまで落ち込んだが、感染拡大が落ち着いた後には、スリランカへの堅調な観光ニーズから旅客数は短期間で回復することが見込まれることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>旅客ターミナルビル等に関しては、①スリランカ政府による需要予測見直しや設計・仕様の変更提案等に時間がかかり、2016年9月の入札までに当初想定以上の時間を要した、②入札プロセスにおいて契約交渉順位第一位となった応札者との契約交渉が長期化したことにより遅延が発生したものの、2020年3月には契約締結に至り、2021年11月18日には着工式典が開催され、現在は工事が行われている。</p> <p>駐機場等に関しては、①用地引き渡し遅延、②当該パッケージと同時に進む給油設備工事の遅延、③入札図書承認プロセスの追加、④使用材料の変更指示に伴う遅延、⑤使用材料や作業結果に対する承認遅延により、進捗が遅れていたが、2021年11月25日に完成式典を実施済み。</p>

(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれているほか、事業の進捗を妨げていた要因が解決していることから、支援を継続する。</p>
<p>3 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ そのほか国際協力機構から提出された資料